

内閣府平成29年度委託調査事業

学生の就職・採用活動開始時期等
に関する調査

調査結果（速報版）

平成29年11月
株式会社浜銀総合研究所

この調査結果（速報版）は、現時点における議論に資するよう作成するものであり、今後、有識者を交えた分析・検討、データの更なる精査を経て、調査結果報告書を作成することとしている。

<目次>

1. 調査の概要・回答者属性	1
(1) 調査の概要	1
(2) 回答者属性	2
(3) ウェイトによる補正	4
2. 就職活動に関する認識と学修時間確保の状況等	6
(1) 就職活動時期に関する認識の状況	6
(2) 就職活動時期に関する認識	9
(3) 就職活動と学修時間確保の状況	11
3. 就職活動内容	14
(1) 企業の広報活動開始前の活動状況	14
(2) 業界や企業に関する分析を開始した時期	15
(3) 企業説明会やセミナー等の参加時期	16
(4) エントリーシートの提出時期	19
(5) 採用面接の実施時期	22
(6) 内々定の状況・内々定の時期	26
(7) 就職活動の始まりと終わりの認識	29
(8) インターンシップの参加状況	35
4. 企業による学業などに対する配慮の状況等	40
(1) 履修履歴（成績証明書など）の提出の状況	40
(2) 採用面接の際の学業や成績等への評価	41
(3) 就職活動の日程・時間帯等に関する配慮	42
(4) 遠隔地への就職活動への配慮	44
(5) クールビズでの対応	45
(6) 留学経験者への配慮	46
(7) 教育実習受講者への配慮	51
(8) ハラスメント的な行為の状況	56

1. 調査の概要・回答者属性

(1) 調査の概要

①調査の目的

本調査は、平成 29 年度卒業・修了予定者の就職・採用選考活動の実態を把握することにより、来年度以降の就職・採用活動の円滑な実施に資することを目的として実施した。

②調査の実施方法

地域、設置主体、規模等を勘案して選定した全国の約 60 の大学に協力いただき、それらの大学から、大学 4 年生及び大学院修士課程（博士前期課程）2 年生¹にアンケート調査への協力を依頼していただいた。なお、医学科・薬学科・歯学科・看護学科・獣医学科の学生や海外からの留学生については調査の対象外である旨を案内の上で実施した²。

各学生には、インターネット上に開設したアンケート調査のホームページにアクセスし、回答していただいた。ホームページは、平成 29 年 7 月 12 日から 8 月 10 日までの間開設した。

③回答状況

対象学年別の有効回答件数は図表 1-1 の通りである。なお、社会人経験があり元の職場に復帰予定の者や、進学等を予定しており就職活動をする予定がない者等については、集計の過程において、適宜対象から除いて集計を行った。

図表 1-1 学年別の有効回答件数

対象	大学 4 年生	大学院 2 年生	合計
有効回答件数	7,181	2,692	9,873

※学年について「その他」と回答があった 78 件については有効回答の対象外とした。

¹ 以下「大学院 2 年生」と表記する。

² 本調査は、全国の約 60 の大学について、原則として対象学年の全学生に対し調査の案内をしていただくように依頼をしたが、調査依頼を行う大学のなかには、医学科・薬学科・歯学科・看護学科・獣医学科の学生や海外からの留学生が多く在籍する大学があると想定された。医学科・薬学科・歯学科・看護学科・獣医学科の学生や海外からの留学生は、就職・採用選考活動に関してその他の学生とは異なる動きとなる場合が多いと予想されたが、これらの学生が調査対象全体に占める割合を母集団の分布等に基づいて事後的に調整を行うことが困難であると考えられたため、あらかじめ調査対象外とすることとした。なお、本報告書に記載・言及している平成 28 年度調査においても同様の方法で調査を実施している。平成 27 年度調査では医学科等の学生や留学生も調査対象に含めているが、平成 27 年度調査は調査依頼を行っていただく学生の人数を各大学に割り当て、対象学生は各大学で抽出してもらうという方法をとっている。また、抽出の際の男女比や文系・理系の比率は大学全体の構成比と同率にさせていただくよう依頼を行っており、平成 27 年度調査において医学科等の学生や留学生が母集団との関係において過度に多く含まれてしまうということは生じていないものと想定される。

(2) 回答者属性

本調査への回答が得られた学生の属性に関して、①性別、②大学・大学院の設置主体、③専攻、④大学・大学院の所在地域による割合を、対象学年別に図表 1-2～図表 1-5 に示し、それぞれ右欄に平成 29 年度の学校基本調査³（文部科学省調べ）の情報（速報値）について掲載した⁴。

本調査の回答者の属性の状況を、学校基本調査に基づく全国の母集団の状況と比較すると、性別については大学 4 年生で「女性」からの回答割合が高くなっており、大学・大学院の設置主体について「国立」からの回答割合が高いなど、若干の偏りが生じている状況にあることが把握される。

図表 1-2 性別

	大学 4 年生		大学院 2 年生	
	本調査	平成 29 年度 学校基本調査 (速報値)	本調査	平成 29 年度 学校基本調査 (速報値)
男性	47.0%	56.9%	73.2%	68.4%
女性	53.0%	43.1%	26.8%	31.6%
集計度数	7,181	661,269	2,692	83,110

図表 1-3 大学・大学院の設置主体

	大学 4 年生		大学院 2 年生	
	本調査	平成 29 年度 学校基本調査 (速報値)	本調査	平成 29 年度 学校基本調査 (速報値)
国立	25.5%	18.3%	69.8%	59.1%
公立	3.4%	5.2%	6.2%	6.8%
私立	71.1%	76.4%	24.1%	34.1%
集計度数	7,181	661,269	2,692	83,110

³ 学校基本調査は、全国全ての学校を対象とした、統計法（平成 19 年法律第 53 号）に基づく基幹統計調査である。

⁴ 調査対象として医学科・薬学科・歯学科・看護学科・獣医学科の学生は対象外としていることから、学校基本調査の情報のうち「専攻」について、「保健」の学生数を除いた値を参照した。ただし、性別や設置主体別、地域別のデータについては、一部「保健」を専攻している学生を取り除いた値の算出が困難であったことから、「保健」の者も含めた値を参照している。（図表 1-4 は「保健」専攻の学生を除いた値、図表 1-2、図表 1-3、図表 1-5 は「保健」専攻の学生を含めた値）

図表 1-4 専攻

	大学 4 年生		大学院 2 年生	
	本調査	平成 29 年度 学校基本調査 (速報値)	本調査	平成 29 年度 学校基本調査 (速報値)
人文科学	21.2%	16.8%	4.6%	7.9%
社会科学	44.5%	37.3%	6.1%	10.9%
理学	6.9%	3.6%	26.2%	9.0%
工学	12.1%	17.6%	48.3%	43.3%
農学	3.1%	3.2%	9.1%	5.9%
保健	2.3%	—	1.1%	—
商船	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%
家政	0.8%	3.0%	0.4%	0.6%
教育	3.4%	8.5%	1.6%	6.3%
芸術	0.5%	2.9%	0.5%	2.9%
その他	5.2%	7.0%	2.1%	13.4%
文系	75.5%	75.5%	15.3%	41.9%
理系	24.5%	24.5%	84.7%	58.1%
集計度数	7,181	594,053	2,692	76,681

※「人文科学」、「社会科学」、「家政」、「教育」、「芸術」、「その他」を「文系」とし、「理学」、「工学」、「農学」、「保健」、「商船」を「理系」としている

図表 1-5 大学・大学院の所在地域

	大学生		大学院生	
	本調査 (大学 4 年生)	平成 29 年度 学校基本調査 (速報値)	本調査 (大学院 2 年生)	平成 29 年度 学校基本調査 (速報値)
北海道・東北	6.0%	7.4%	11.6%	8.7%
関東	33.7%	44.0%	41.1%	42.2%
中部	9.7%	12.8%	15.3%	13.1%
近畿	33.8%	21.0%	14.6%	20.2%
中国・四国	6.3%	6.6%	8.2%	7.1%
九州・沖縄	10.5%	8.3%	9.3%	8.6%
集計度数	7,181	2,890,942	2,692	250,893

※「北海道・東北」は、北海道、青森県、岩手県、秋田県、宮城県、山形県、福島県が該当する

※「関東」は、茨城県、栃木県、群馬県、埼玉県、千葉県、東京都、神奈川県が該当する

※「中部」は、山梨県、長野県、新潟県、富山県、石川県、福井県、静岡県、愛知県、岐阜県が該当する

※「近畿」は、三重県、滋賀県、京都府、大阪府、兵庫県、奈良県、和歌山県が該当する

※「中国・四国」は、鳥取県、島根県、岡山県、広島県、山口県、香川県、愛媛県、徳島県、高知県が該当する

※「九州・沖縄」は、福岡県、佐賀県、長崎県、熊本県、大分県、宮崎県、鹿児島県、沖縄県が該当する

(3) ウェイトによる補正

就職・採用活動の状況は、文系・理系などの属性別に差異があると考えられたことから、大学4年生全体、または大学院2年生全体の状況を示すにあたっては、可能な限り回答者の属性分布を母集団に近似させることが望ましいと考えられた。そこで、本調査では、「性別」「大学・大学院の設置主体」「文系・理系別」の3点について、それぞれのバランスが母集団に近似するようにウェイト付けを行った上で集計を行うこととした。

分類別のウェイト値は図表 1-6 に示したとおりである。また、①性別、②大学・大学院の設置主体、③専攻、④大学・大学院の所在地域のそれぞれについて、ウェイトによる補正後の分布は図表 1-7～図表 1-10 のようになっている⁵。

これらから、ウェイト補正後は、「性別」「大学・大学院の設置主体」「文系・理系別」の3点について、母集団における分布と近い構成比になっていることが確認できる⁶。ただし、専攻の内訳と大学・大学院の所在地域については直接的にウェイト付けの対象としなかったことから、母集団の分布と比べて若干の偏りが生じている状況にある。

図表 1-6 性別、大学・大学院の設置主体別、文系・理系別のウェイト値

本調査			大学4年生	大学院2年生
男性	国立	文系	0.7652	2.7874
		理系	0.9506	0.6554
	公立	文系	2.1353	2.6227
		理系	0.9912	0.7064
	私立	文系	1.4134	3.3555
		理系	1.4482	0.9867
女性	国立	文系	0.5701	2.2641
		理系	0.4571	0.3574
	公立	文系	1.3960	3.9806
		理系	0.8789	0.7834
	私立	文系	0.8244	2.7754
		理系	0.7369	1.0360

※ウェイト値について四捨五入の上小数点以下第4位まで掲載しているが、実際には小数点以下第15位までの値に基づいてウェイト付けを行っている。

⁵ ウェイト補正後の集計値に関しては、四捨五入等している関係で、設問により、選択肢ごとの度数と度数合計が一致しない場合がある。また、集計結果の割合(%)は、小数点第2位を四捨五入した上で表示しているため、内訳の計が100%にならない場合がある。

⁶ 専攻の内訳と大学・大学院の所在地域については直接的にウェイト付けの対象としなかったことから、母集団の分布と比べて若干の相違があるが、細部まで補正を行うことが困難であったことから、「性別」「大学・大学院の設置主体別」「文系・理系別」の3点について補正したデータにより集計を行った。なお、ウェイト付けの際には、専攻について「保健」の者を除いた形で値を算出した。このことにより、ウェイト補正後の「性別」「大学・大学院の設置主体別」の分布について、図表 1-2、図表 1-3 に掲載した構成比とは若干異なる値になっている。

図表 1-7 性別（ウエイトによる補正後）

本調査	大学 4 年生	大学院 2 年生
男性	59.0%	70.5%
女性	41.0%	29.5%
集計度数	7,181	2,692

図表 1-8 大学・大学院の設置主体（ウエイトによる補正後）

本調査	大学 4 年生	大学院 2 年生
国立	18.4%	59.3%
公立	4.7%	6.8%
私立	76.9%	33.9%
集計度数	7,181	2,692

図表 1-9 専攻（ウエイトによる補正後）

本調査	大学 4 年生	大学院 2 年生
人文科学	19.8%	12.6%
社会科学	46.9%	17.2%
理学	7.0%	17.8%
工学	13.0%	34.8%
農学	2.3%	4.9%
保健	2.3%	0.7%
商船	0.0%	0.0%
家政	0.6%	1.1%
教育	2.7%	4.0%
芸術	0.5%	1.3%
その他	4.9%	5.7%
文系	75.5%	41.9%
理系	24.5%	58.1%
集計度数	7,181	2,692

図表 1-10 大学・大学院の所在地域（ウエイトによる補正後）

本調査	大学 4 年生	大学院 2 年生
北海道・東北	5.0%	8.1%
関東	33.9%	46.9%
中部	9.4%	12.5%
近畿	37.4%	18.0%
中国・四国	4.8%	6.8%
九州・沖縄	9.5%	7.6%
集計度数	7,181	2,692

以降では、ウェイト補正後のデータに基づき、2. 就職活動に関する認識と学修時間確保の状況等、3. 就職活動内容、4. 企業による学業などに対する配慮の状況等について集計を行った。

なお、集計は基本的には大学4年生・大学院2年生を分けて行ったが、集計度数が比較的少なくなってしまう部分については両者を合わせて集計した。また、主に就職活動の時期等に関する集計結果については、平成27年度に実施した「就職・採用活動時期の後ろ倒しに係る学生の就職活動等調査」及び平成28年度に実施した「就職・採用活動開始時期変更に係る学生の就職活動等調査」⁷との比較を行い、回答傾向の違いについて把握した。

2. 就職活動に関する認識と学修時間確保の状況等

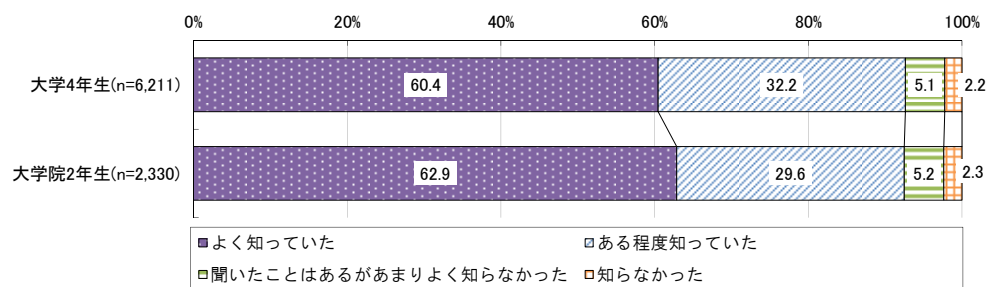
(1) 就職活動時期に関する認知の状況

① 就職活動時期に関する認知度

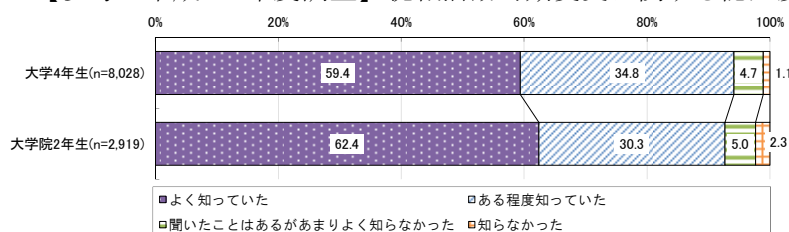
就職活動を開始するにあたり、就職・採用活動の時期が昨年度と同様の日程（広報活動は3月1日以降、採用選考活動は6月1日以降）で行われることについて知っていたかをたずねたところ、大学4年生・大学院2年生ともに、「よく知っていた」との回答は6割以上となっており、「ある程度知っていた」の回答との合計は9割以上になっている。

なお、平成28年度調査において就職活動時期変更について知っていたかをたずねた設問への回答結果と比較すると、大学4年生・大学院2年生ともに、平成28年度調査と今年度調査とではほぼ同様の結果となっている⁸。

図表 2-1-1 就職活動時期に関する認知度



図表 2-1-2 【参考・平成28年度調査】就職活動時期変更に関する認知度



⁷ それぞれ、「平成27年度調査」「平成28年度調査」と表記し、両調査をあわせて「過年度調査」と表記する。また、今回実施した「学生の就職・採用活動開始時期等に関する調査」を「今年度調査」と表記する。

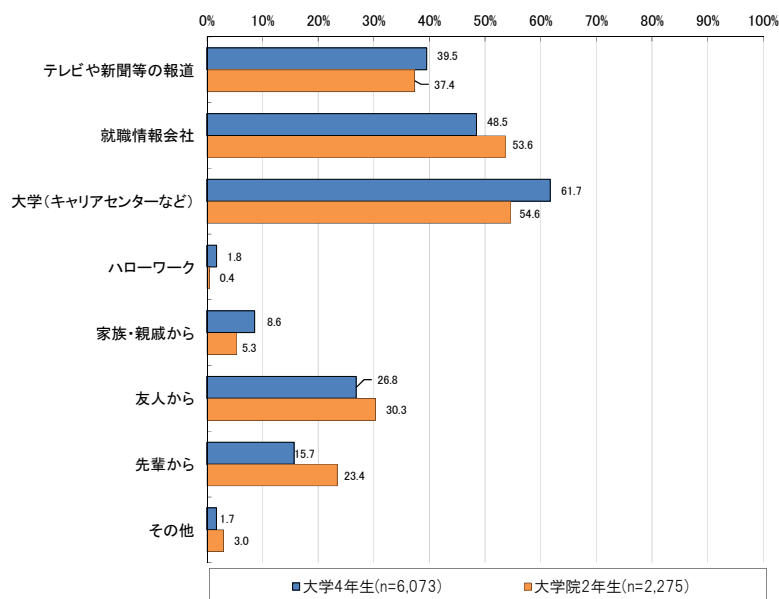
⁸ 平成28年度調査・今年度調査ともに、「就職活動を行った（終えた）」「就職活動を行っている（継続している）」「これから就職活動を行う予定である」と回答した者が集計対象で、「就職活動を行わなかった（行う予定はない）」と回答した者は集計の対象外とした。

②就職活動の時期に関する情報源

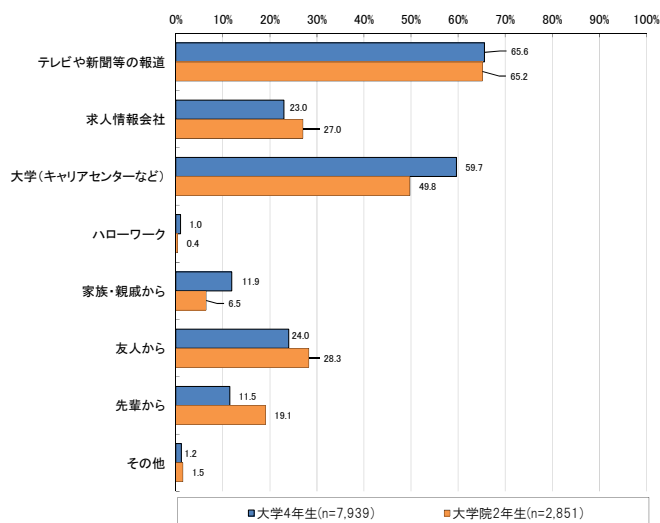
どのようなルートで就職・採用活動の時期に関する情報を知ったかをたずねたところ⁹、大学4年生・大学院2年生ともに、「大学(キャリアセンターなど)」の回答が5割以上と最も高く、次いで「就職情報会社」の割合が高くなっている。

なお、平成28年度調査において就職活動時期変更に関する情報をどのようなルートで知ったかをたずねた設問への回答結果と比較すると、今年度調査においては、大学4年生・大学院2年生ともに、「テレビや新聞等の報道」の割合が低く、「大学(キャリアセンターなど)」の割合が高くなっている。

図表 2-1-3 就職活動時期に関する情報源（複数回答）



図表 2-1-4 【参考・平成28年度調査】就職活動時期変更に関する情報源（複数回答）

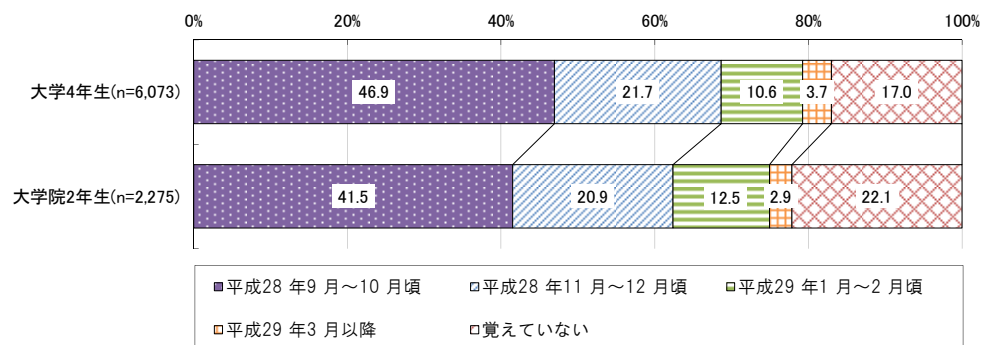


⁹ 就職・採用活動の時期が昨年度と同様の日程で行われることについて「よく知っていた」「ある程度知っていた」「聞いたことはあるがあまりよく知らなかった」と回答した者が集計の対象で、「知らなかった」と回答したものは集計の対象外とした。

③就職活動時期に関する情報を知った時期

いつ頃就職・採用活動の時期に関する情報を知ったかをたずねたところ¹⁰、大学4年生・大学院2年生ともに、「平成28年9月～10月頃」の割合が最も高く、4割以上となっている。

図表 2-1-5 就職活動時期に関する情報を知った時期



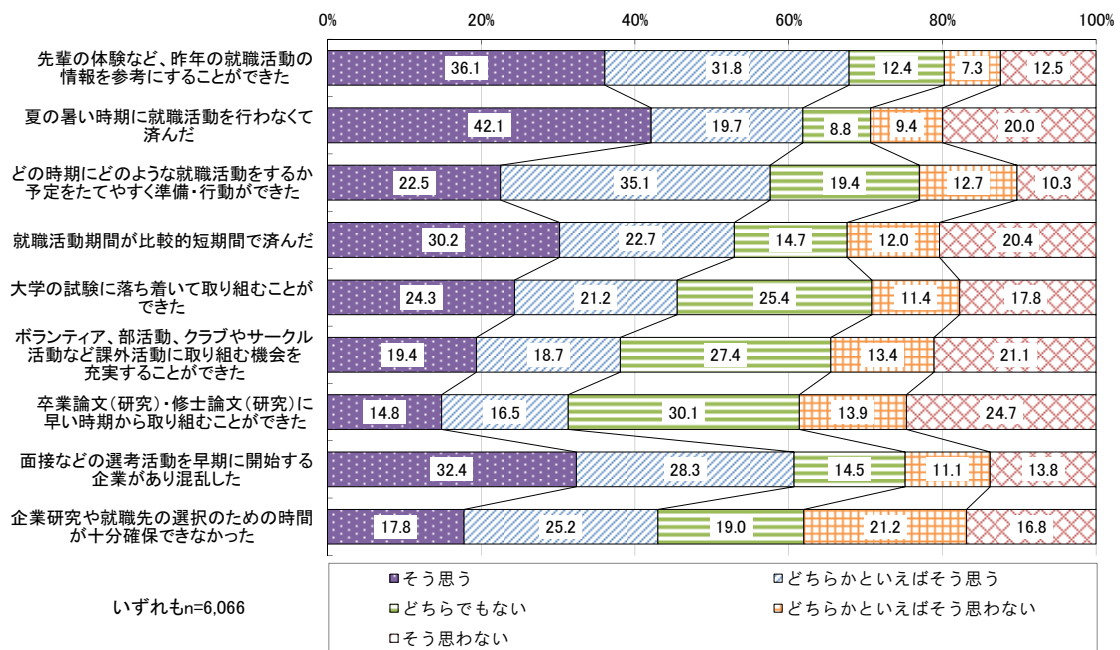
¹⁰ 就職・採用活動の時期が昨年度と同様の日程で行われることについて「よく知っていた」「ある程度知っていた」「聞いたことはあるがあまりよく知らなかった」と回答した者が集計の対象で、「知らなかった」と回答したものは集計の対象外とした。

(2) 就職活動時期に関する認識

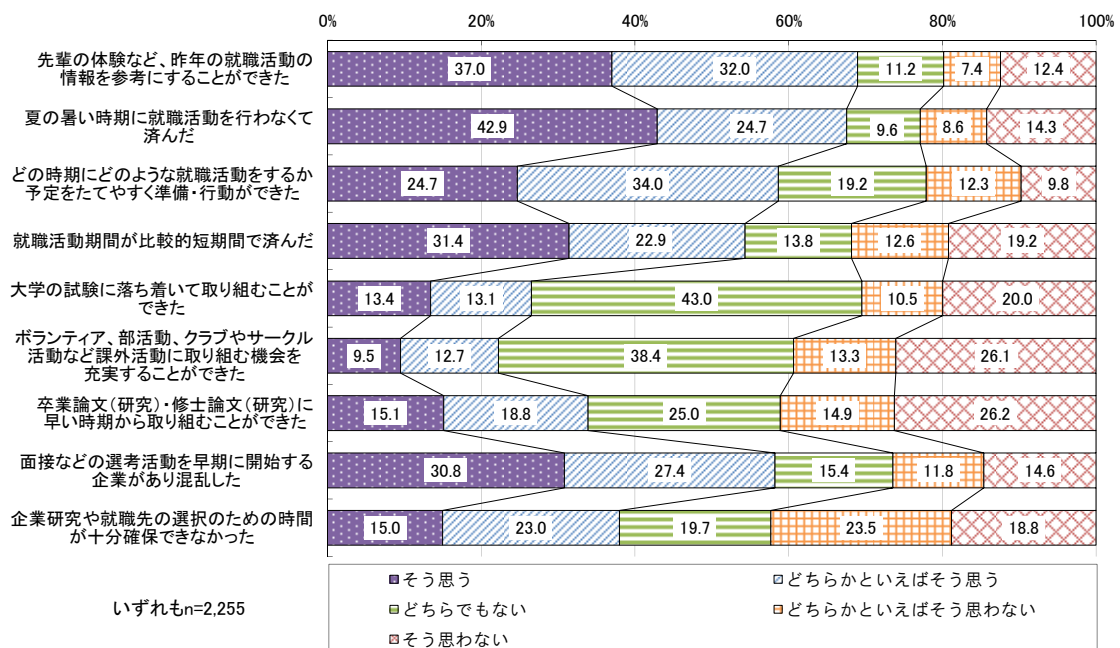
就職・採用活動の時期が昨年度と同様の時期に設定された（広報活動は本年3月1日以降、採用選考活動は本年6月1日以降に開始）ことについてどのように思ったかをたずねた。

大学4年生・大学院2年生ともに、「先輩の体験など、昨年の就職活動の情報を参考にすることができた」や「夏の暑い時期に就職活動を行わなくて済んだ」などの点で、「そう思う」「どちらかといえばそう思う」を合わせた回答割合が比較的高かった一方で、「面接などの選考活動を早期に開始する企業があり混乱した」についても同様の回答割合が高かった。

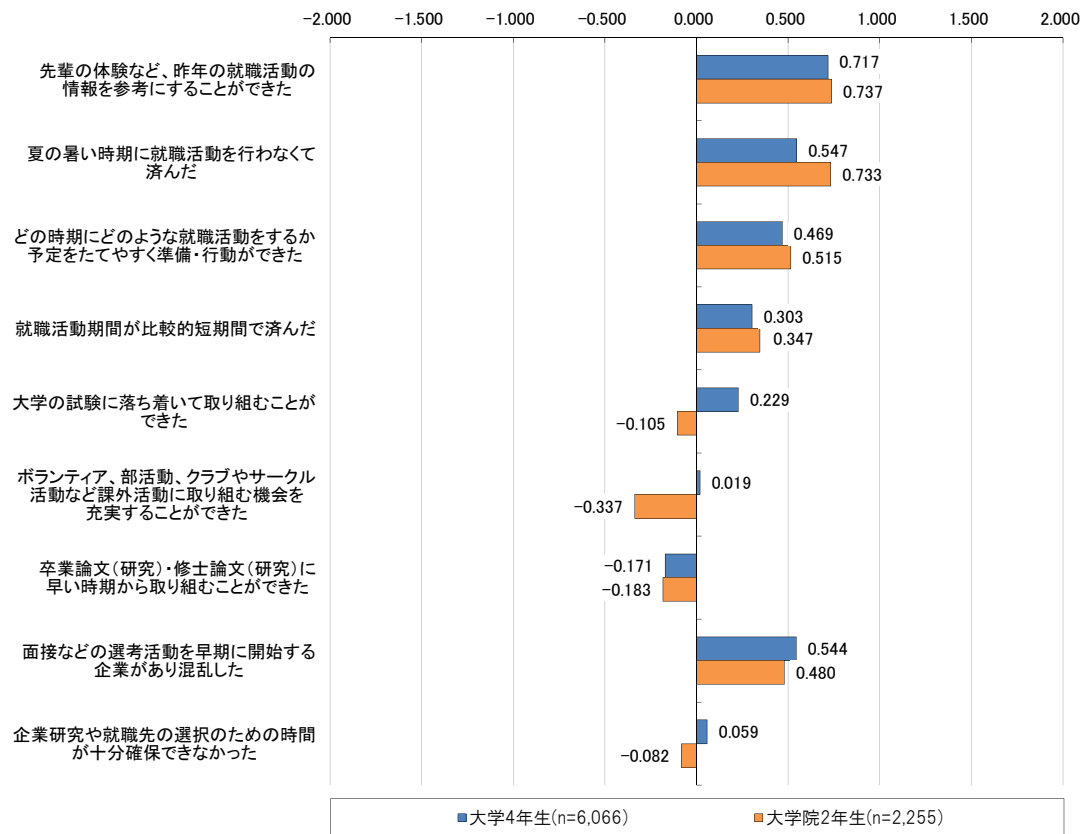
図表 2-2-1 就職活動時期に関する認識（大学4年生）



図表 2-2-2 就職活動時期に関する認識（大学院2年生）



図表 2-2-3 就職活動時期に関する認識（得点化による集計）¹¹



¹¹ それぞれの設問について、「そう思う」を2点、「どちらかといえばそう思う」を1点、「どちらでもない」を0点、「どちらかといえばそう思わない」を-1点、「そう思わない」を-2点として、平均値を算出した。

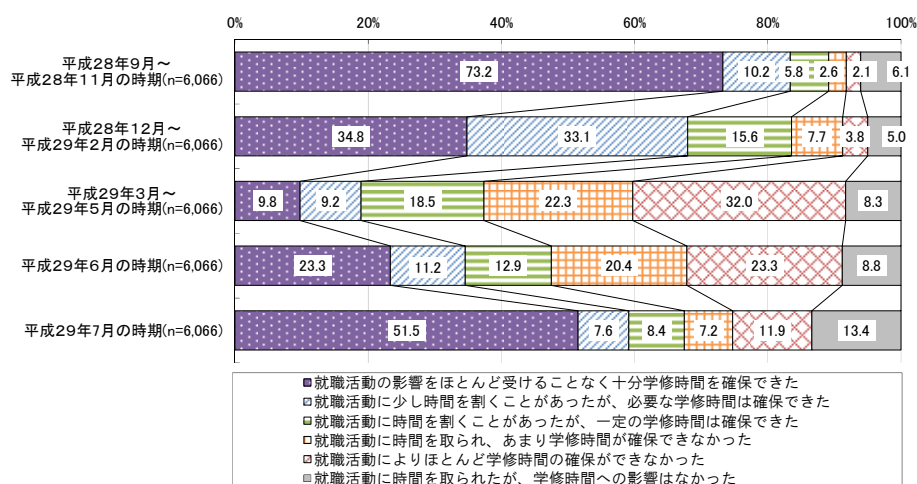
(3) 就職活動と学修時間確保の状況

就職活動と学修時間確保の状況について、平成28年9月以降の状況をたずねた。

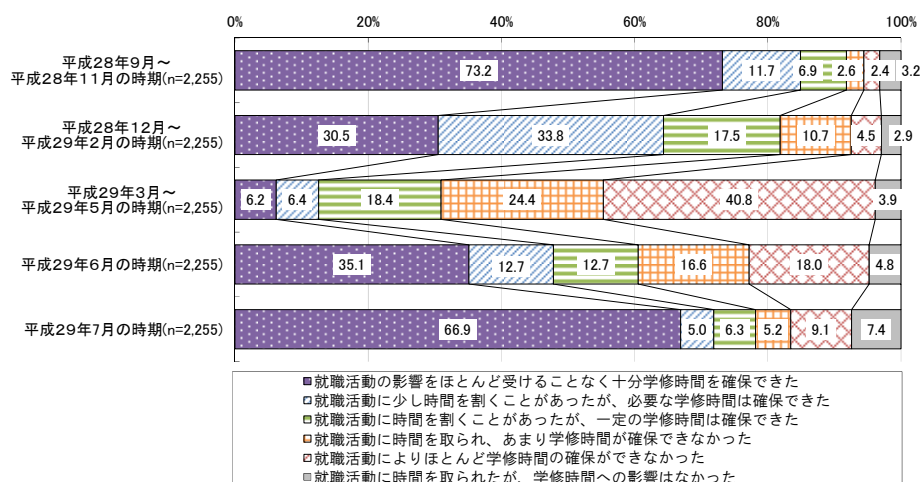
「十分学修時間を確保できた」、「必要な学修時間は確保できた」と「一定の学修時間は確保できた」のいずれかを回答した割合は、大学4年生・大学院2年生ともに、広報活動開始時期前の2月までは8割以上と高くなっており、広報活動開始時期後の3～5月の時期には4割以下にまで低下しているものの、採用・選考活動開始時期後の6月は大学4年生で約5割、大学院2年生で約6割、7月はそれぞれ約7割・約8割まで高くなっている。

採用・選考活動開始時期が8月とされていた平成27年度調査と比較すると、今年度調査は平成28年度調査と同様に、6月・7月の時期に学修時間が確保できたと回答した割合が2倍程度の時期もあるなど高くなっている。また、平成28年度調査と比較すると、6月以降の時期は今年度調査のほうが高く、特に大学院2年生においては1割以上高くなっている。

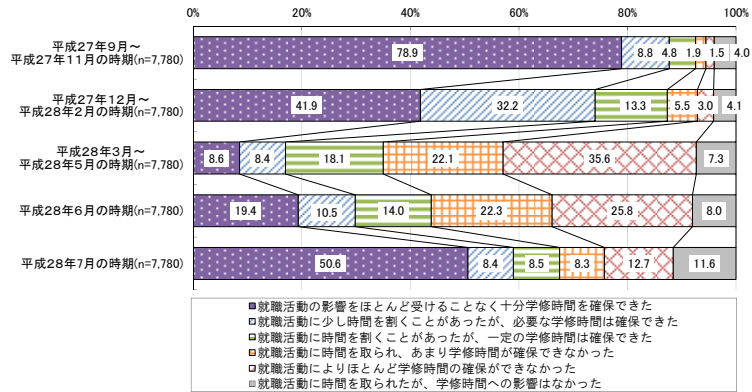
図表 2-3-1 就職活動と学修時間確保の状況（大学4年生）



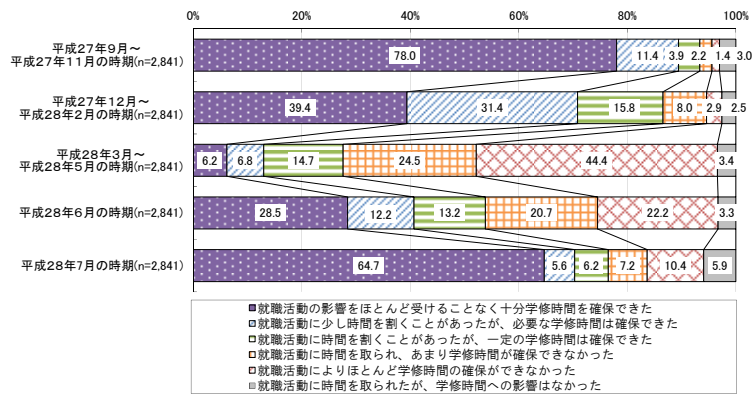
図表 2-3-2 就職活動と学修時間確保の状況（大学院2年生）



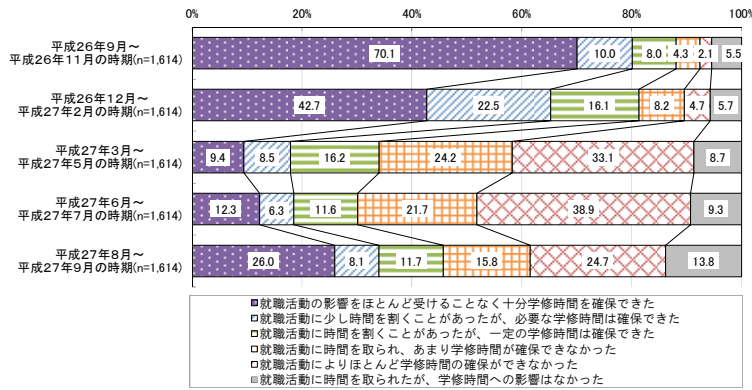
図表 2-3-3 【参考・平成 28 年度調査】 就職活動と学修時間確保の状況
 <大学 4 年生>



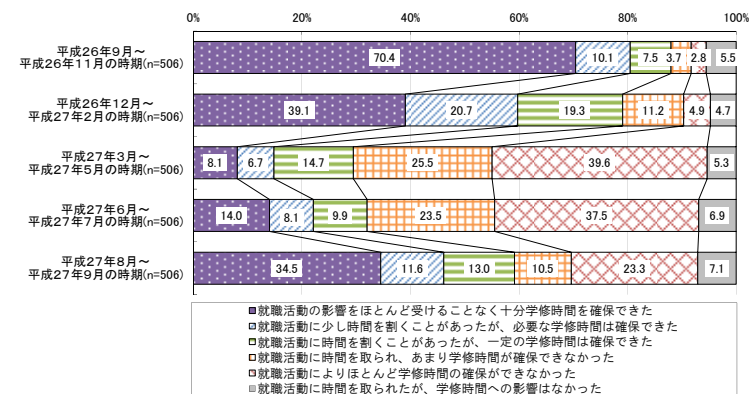
<大学院 2 年生>



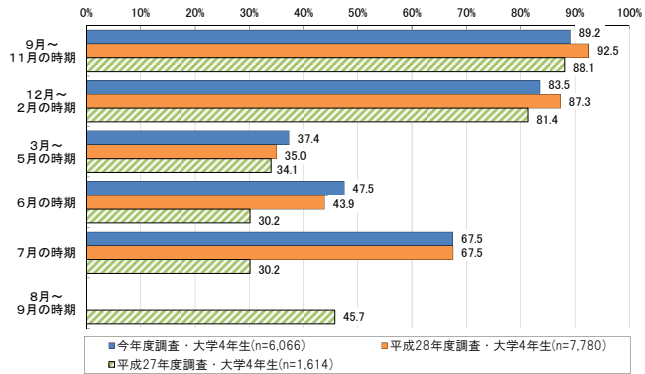
図表 2-3-4 【参考・平成 27 年度調査】 就職活動と学修時間確保の状況
 <大学 4 年生>



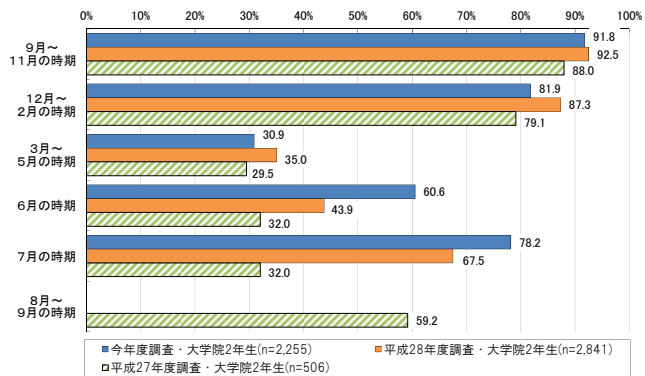
<大学院 2 年生>



図表 2-3-5 【参考・過年度調査との比較】 就職活動と学修時間確保の状況
 <大学4年生>



<大学院2年生>



※ 「十分学修時間を確保できた」「必要な学修時間は確保できた」「一定の学修時間は確保できた」のいずれかを回答した割合

※ 「6月の時期」「7月の時期」は、平成27年度は「6月～7月の時期」として調査を実施（図表にはそれぞれ同じ値を掲載）

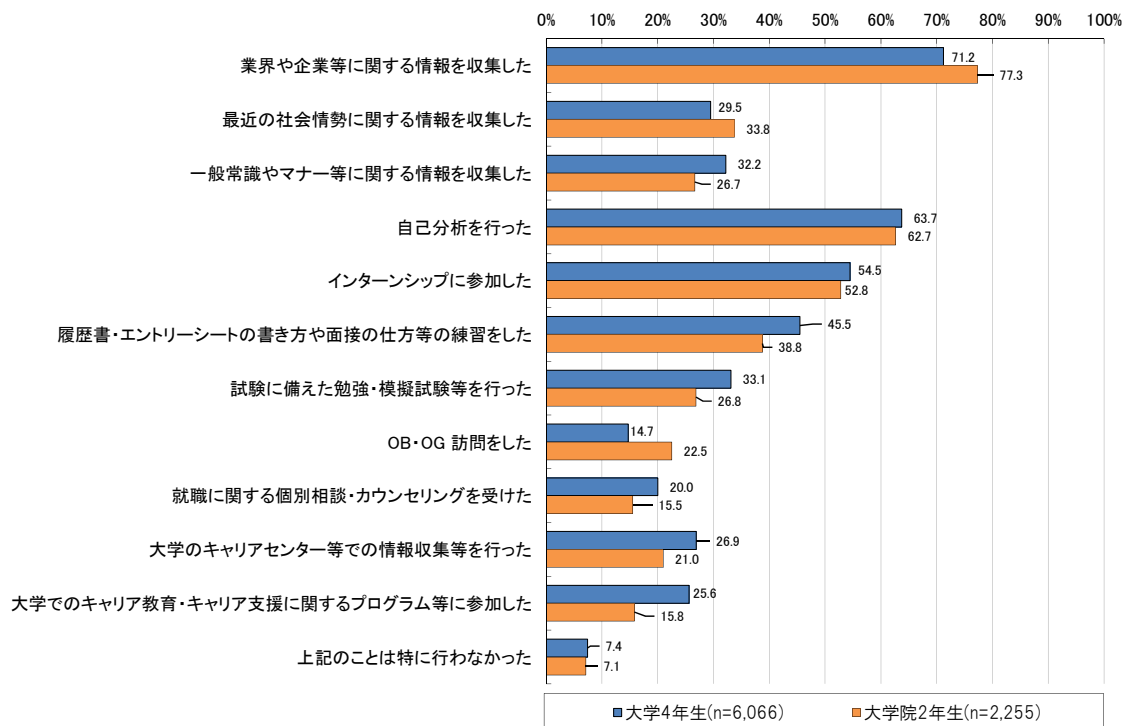
3. 就職活動内容

(1) 企業の広報活動開始前の活動状況

就職活動を行うに当たり、企業の広報活動が開始になる3月1日より前の時期にどのような活動をしたかをたずねたところ、大学4年生・大学院2年生ともに、「業界や企業等に関する情報を収集した」の回答割合が最も高く、次いで「自己分析を行った」「インターンシップに参加した」「履歴書・エントリーシートの書き方や面接の仕方等の練習をした」の順で回答割合が高くなっている。

なお、大学4年生について、「就職に関する個別相談・カウンセリングを受けた」「大学のキャリアセンター等での情報収集等を行った」「大学でのキャリア教育・キャリア支援に関するプログラム等に参加した」の回答割合は2~3割程度で、それぞれ大学院2年生よりも高くなっている。

図表 3-1-1 企業の広報活動開始前の活動状況（複数回答）

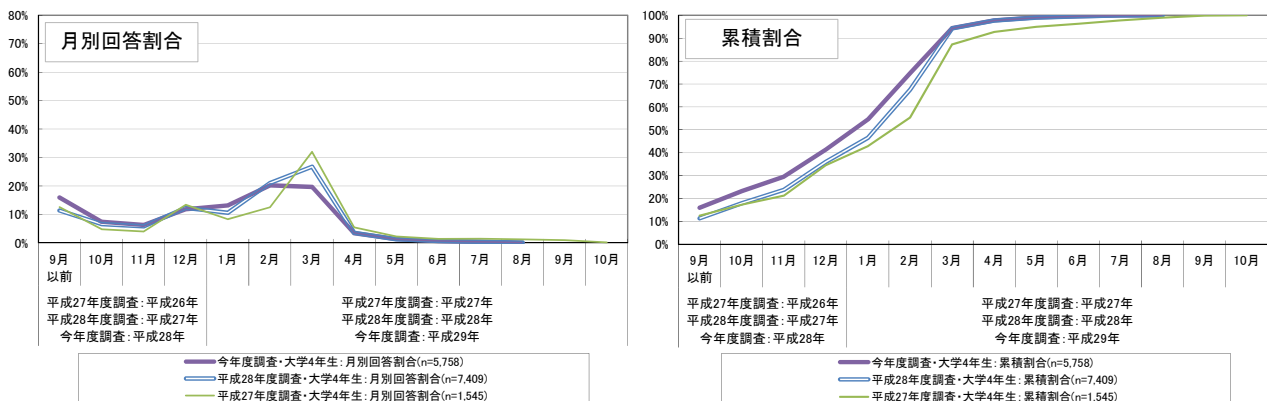


(2) 業界や企業に関する分析を開始した時期

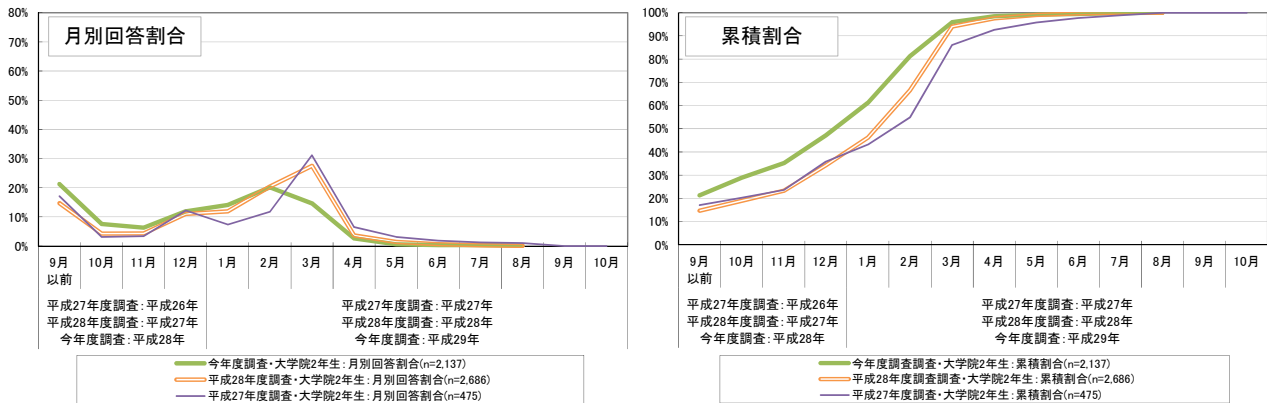
いつごろから業界や企業に関する分析を開始したかをたずねたところ、大学4年生では「平成29年2月」と「平成29年3月」の回答割合が約2割と高く、次いで「平成28年9月以前」の回答割合が高くなっている¹²。大学院2年生では、「平成28年9月以前」と「平成29年2月」の回答割合が約2割と高くなっている。

過年度調査と比較すると、大学4年生・大学院2年生ともに、過年度調査では「3月」との回答割合が最も高かったが、今年度調査では「2月」との回答割合が最も高く、また、「9月以前」など、より早期の回答割合が高くなっており、全体的に時期が早まっている。

図表 3-2-1 業界や企業に関する分析を開始した時期（大学4年生）



図表 3-2-2 業界や企業に関する分析を開始した時期（大学院2年生）



図表 3-2-3 業界や企業に関する分析を開始した時期（詳細データ）

<大学4年生>

	9月以前	10月	11月	12月	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月
月別回答割合	15.9%	7.4%	6.3%	11.8%	13.1%	20.2%	19.7%	3.4%	1.3%	0.6%	0.3%	0.0%
累積割合	15.9%	23.3%	29.6%	41.4%	54.5%	74.7%	94.4%	97.7%	99.1%	99.7%	100.0%	100.0%

<大学院2年生>

	9月以前	10月	11月	12月	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月
月別回答割合	21.3%	7.6%	6.3%	11.9%	14.1%	20.1%	14.6%	2.6%	0.6%	0.4%	0.3%	0.2%
累積割合	21.3%	28.9%	35.2%	47.1%	61.2%	81.3%	95.9%	98.5%	99.1%	99.5%	99.8%	100.0%

¹² 業界や企業に関する分析について「特段行わなかった」と回答した者（大学4年生：308件、大学院2年生：119件）は、ここでは集計の対象外とした。なお、過年度調査も同様に集計を行っている。

(3) 企業説明会やセミナー等の参加時期

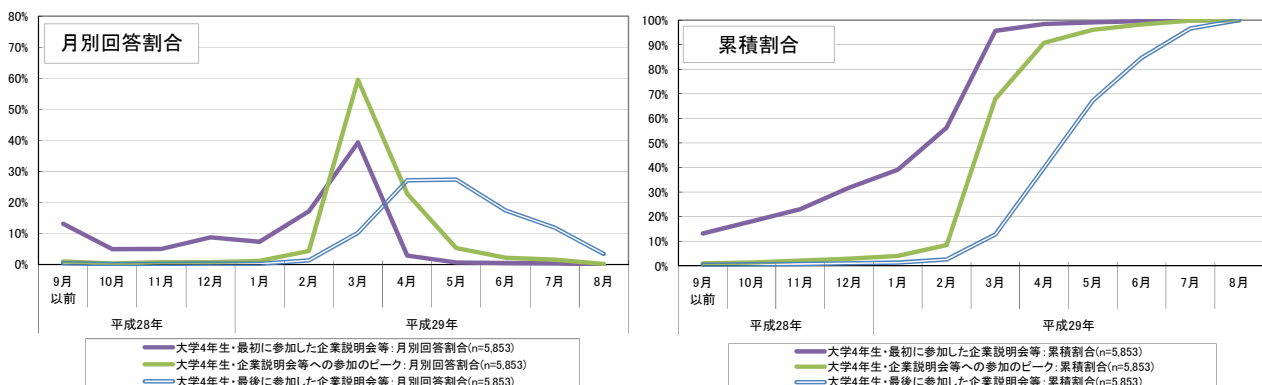
企業説明会やセミナー等について、「最初に参加した時期」「参加のピーク」「最後に参加した時期」をそれぞれたずねた¹³。

「最初に参加した時期」については、大学4年生・大学院2年生ともに、広報活動開始時期である「平成29年3月」との回答割合が約4割と最も高くなっている。また、「参加のピーク」についても、大学4年生の約6割、大学院2年生の約7割が「平成29年3月」と回答しており最も割合が高い。

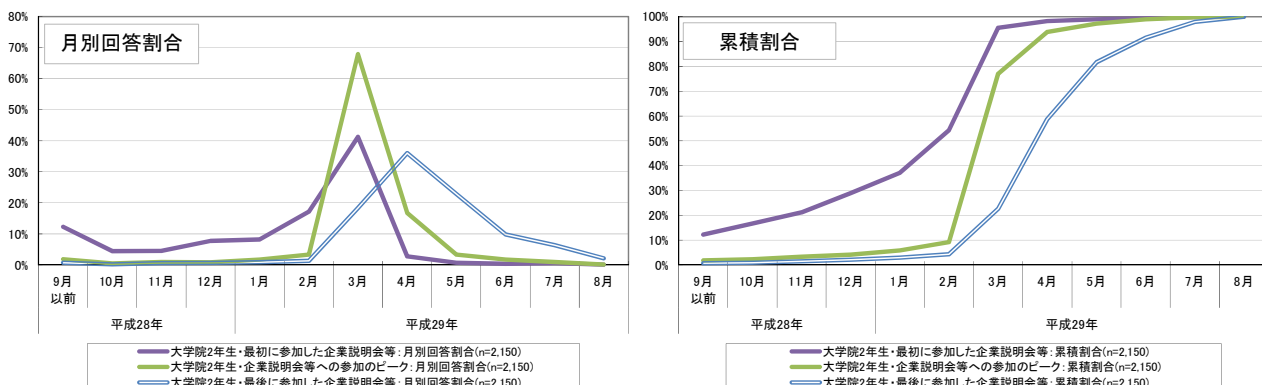
「最後に参加した時期」については、大学4年生では「平成29年4月」と「平成29年5月」の回答割合が約3割となっており、大学院2年生では「平成29年4月」との回答割合が約4割と最も高くなっている。

これら企業説明会やセミナー等の参加時期について過年度調査と比較すると、「最初に参加した時期」「参加のピーク」「最後に参加した時期」のいずれについても、回答割合が最も高い月は平成28年度調査と今年度調査とで同一であるが、累積割合で見ると、今年度調査ではより早期の回答割合が高くなっている。

図表 3-3-1 企業説明会やセミナー等の参加時期（大学4年生）



図表 3-3-2 企業説明会やセミナー等の参加時期（大学院2年生）



¹³ 企業説明会やセミナー等に「特段参加しなかった」と回答した者（大学4年生：214件、大学院2年生：105件）は、ここでは集計の対象外とした。なお、過年度調査も同様に集計を行っている。

図表 3-3-3 企業説明会やセミナー等の参加時期（詳細データ）

<大学4年生>

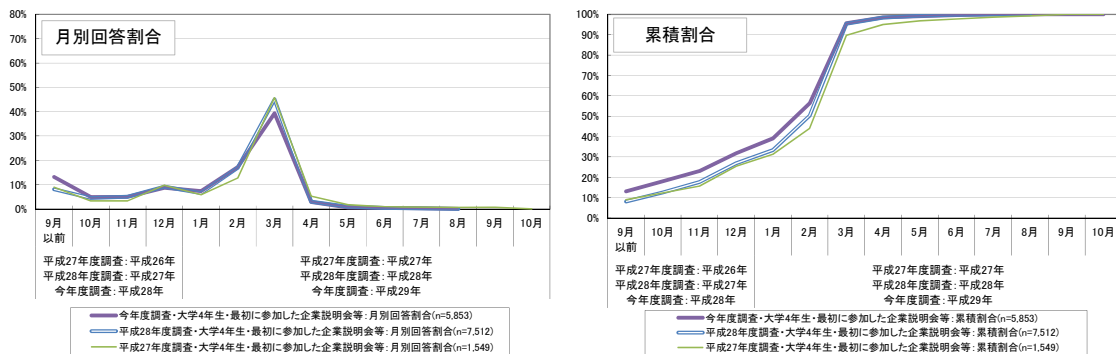
最初の参加	9月以前	10月	11月	12月	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月
月別回答割合	13.1%	4.9%	5.0%	8.7%	7.3%	17.2%	39.3%	2.8%	0.7%	0.5%	0.4%	0.0%
累積割合	13.1%	18.1%	23.1%	31.8%	39.1%	56.3%	95.6%	98.5%	99.1%	99.6%	100.0%	100.0%
参加のピーク	9月以前	10月	11月	12月	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月
月別回答割合	1.0%	0.3%	0.8%	0.8%	1.2%	4.4%	59.5%	22.8%	5.3%	2.2%	1.6%	0.2%
累積割合	1.0%	1.3%	2.1%	2.9%	4.0%	8.4%	68.0%	90.8%	96.1%	98.3%	99.8%	100.0%
最後の参加	9月以前	10月	11月	12月	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月
月別回答割合	0.4%	0.1%	0.2%	0.3%	0.2%	1.3%	10.2%	27.1%	27.4%	17.4%	11.9%	3.4%
累積割合	0.4%	0.6%	0.8%	1.0%	1.3%	2.6%	12.8%	39.9%	67.3%	84.7%	96.6%	100.0%

<大学院2年生>

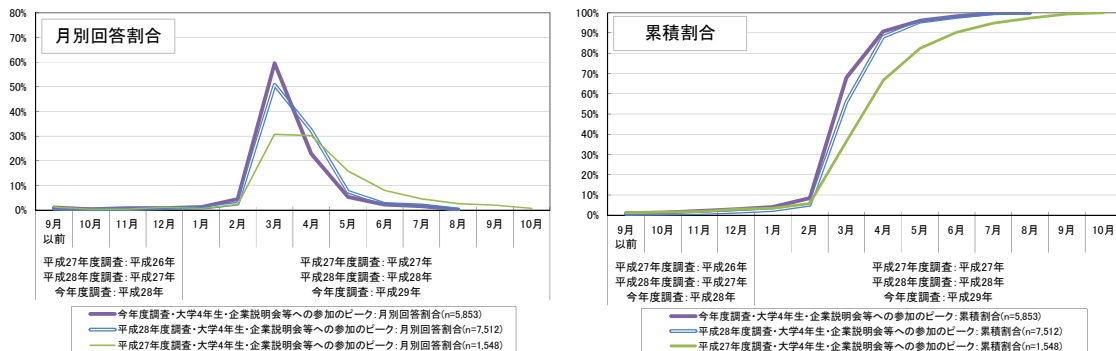
最初の参加	9月以前	10月	11月	12月	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月
月別回答割合	12.3%	4.4%	4.5%	7.7%	8.2%	17.1%	41.2%	2.7%	0.7%	0.3%	0.6%	0.1%
累積割合	12.3%	16.7%	21.2%	29.0%	37.1%	54.3%	95.5%	98.3%	99.0%	99.3%	99.9%	100.0%
参加のピーク	9月以前	10月	11月	12月	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月
月別回答割合	1.8%	0.5%	1.0%	0.8%	1.7%	3.3%	67.9%	16.8%	3.3%	1.7%	0.9%	0.2%
累積割合	1.8%	2.3%	3.3%	4.1%	5.9%	9.2%	77.1%	93.9%	97.2%	98.9%	99.8%	100.0%
最後の参加	9月以前	10月	11月	12月	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月
月別回答割合	0.7%	0.2%	0.6%	0.7%	0.9%	1.3%	18.4%	36.1%	22.9%	9.9%	6.4%	2.1%
累積割合	0.7%	0.9%	1.5%	2.1%	3.0%	4.3%	22.7%	58.8%	81.7%	91.5%	97.9%	100.0%

図表 3-3-4 【参考・過年度調査との比較】企業説明会やセミナー等の参加時期（大学4年生）

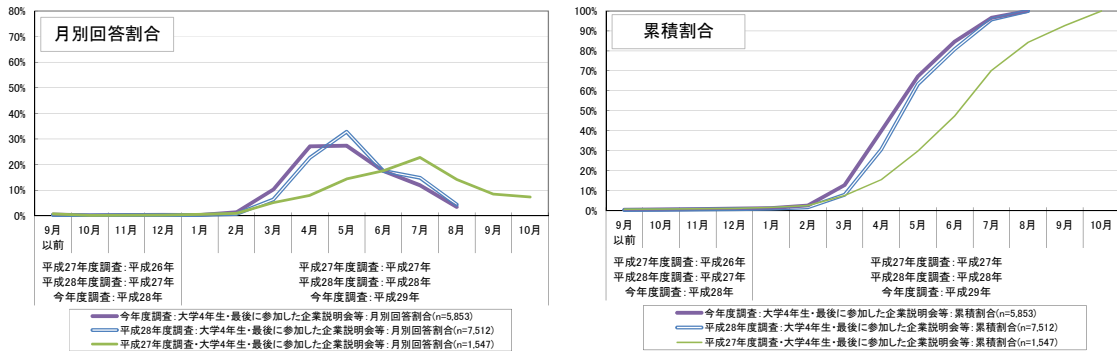
<最初に参加した時期>



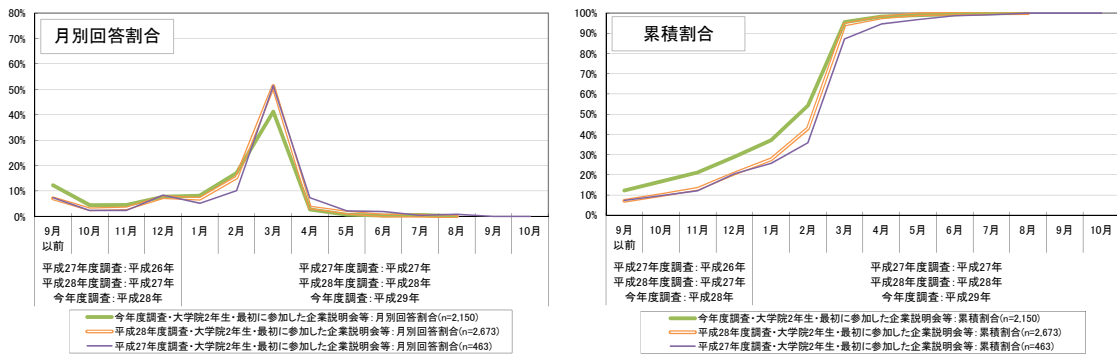
<参加のピーク>



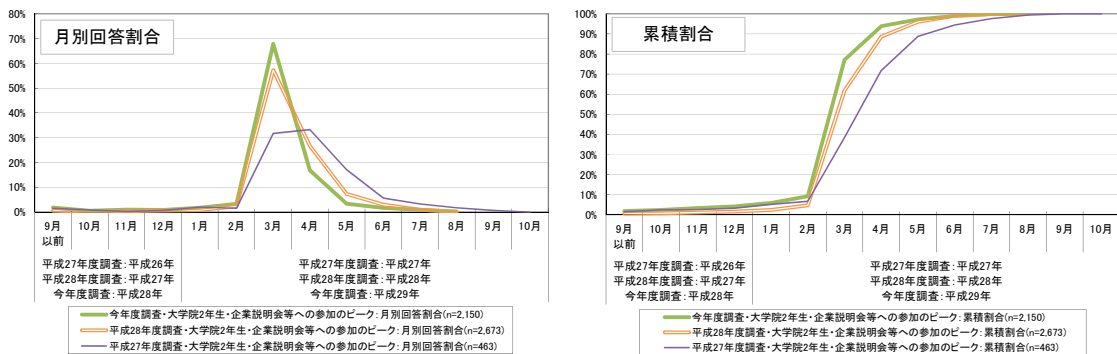
図表 3-3-4 【参考・過年度調査との比較】企業説明会やセミナー等の参加時期
(大学4年生)
＜最後に参加した時期＞



図表 3-3-5 【参考・過年度調査との比較】企業説明会やセミナー等の参加時期
(大学院2年生)
＜最初に参加した時期＞



＜参加のピーク＞



＜最後に参加した時期＞

